

小松市教育委員会会議録

会議名	平成29年 第9回小松市教育委員会定例会					
開会月日	平成29年8月16日(水)	場所	教育長室			
会議時間	(開会)午前 9時00分～ (閉会)午前 10時30分					
休憩時間	①(休憩)午前・午後 時 分 ～ (再会)午前・午後 時 分 ②(休憩)午前・午後 時 分 ～ (再会)午前・午後 時 分					
委員 の 出席	教育長	石黒 和彦	出席	委員	北村 嘉章	出席
	委員	野田 美和子	出席	委員	蘆邊 千鶴子	出席
	委員	吉原 慎吾	出席	出席委員4名、欠席委員0名		
出席 説明 員	教育次長兼教育庶務課長	山本 裕	出席	教育次長	道端 祐一郎	出席
	未来の教育課長兼教育研究センター 所長	廣田 恵子	出席	図書館長	山崎 みどり	出席
	学校教育課長	吉田 明生	出席	市立高校事務長	山口 和博	出席
	青少年育成課長	東谷 勝美	出席	ひととものづくり科学館 副館長	浅野 幸恵	出席
	教育庶務課参事(総括)	米津 貴之	出席	教育庶務課参事	池田 美和子	出席
			出席			出席
書記						
傍聴者	0 名					
会議 に 付 し た 議 題	【報告事項】					
	・図書館行事等について(図書館)					
	・小松市学校給食調理等業務委託について(学校教育課)					
	・教職員の勤務時間について(学校教育課)					
	・新制服について(市立高校)					
	・体験入学について(市立高校)					
	・平成29年度グッドマナーキャンペーンについて(青少年育成課)					
	・子育てセンターの指定管理について(青少年育成課)					
	・寄附受納について(ひととものづくり科学館)					
	・夏の企画等について(ひととものづくり科学館)					
・教育大綱アクションプランの達成値について(各担当)						

教育委員会報告

平成29年8月16日

【報告事項】	
件名	図書館行事等について
所管部課名	図書館
内容	<p>① こまつ市民読書の日講座</p> <p>「朗読講座～声に出す楽しみ～」の2回目を27日に実施。1回目は基本を重要視し、発声練習、滑舌練習等を何度も繰り返した。音声の表現方法についても学び、最後に北原白秋の『五十音』をみんなで朗読した。</p> <p>2回目は、1回目で学んだ音声表現、たとえば、間(マ)の取り方、イントネーションを意識しながら朗読の実践を試みる</p> <p>② テーマ展示</p> <p>8月のテーマ展示は、夏休みにちなんだものを企画した。</p> <p>サイエンスヒルズでは、5日より「わくわく恐竜ランド」が始まり、また研究体験では埋蔵文化財センターとのコラボで「科学でときあかすミクロな世界」を企画していることから、図書館もコラボ企画として、「きょうりゅうわーど」、「科学のとびら」のコーナーを設けた。</p> <p>恐竜関係では、7月に宮西達也さんにちなんだ本を並べたが、最後2～3冊しか残らないほど、人気のコーナーだった。これに引き続き恐竜関係の物語から歴史、図鑑など比較的小児たちが読みやすい本を選んで並べた。</p> <p>夏休みといえば、自由研究で科学に取り組む子供たちが多く、ヒルズでも科学を取り上げており、それにコラボして、科学実験などで新たな発見をするまでの過程、流れに即した関連本を並べた。</p> <p>長い夏休みに、少しでも子供たちに、本に接してもらおうと、夏休み宿題応援コーナーでは課題図書をズラリと並べているが、その他にもヤング層に向けて、子供たちに人気のジブリ作品関係の図書を集め、「ジブリ祭り」と題して、コーナーを設けて紹介している。</p> <p>この他、夏休み宿題応援コーナーでは、子供たちがこの夏休みを利用して科学研究に取り組んでもらおうと、研究のポイントとなる参考書を低・高学年別に置いた。また、学校教育課主催で、夏休み自由研究の優秀作品も同時に紹介している。</p>
今後の方針	
教育委員等の意見	<p>【蘆邊委員】①朗読講座の効果、活用はあるのか。</p> <p>【教育長】②テーマ展示のPRはしているのか。折角の企画が市民に知られていな</p>

	<p>い、いろんな媒体を使ってPRしてほしい。</p> <p>【北村委員】③テーマ展示の企画方法はどのようにしているのか。</p>
回 答	<p>①学校司書等も参加しており使った教材を実際に学校で読み聞かせに使っている。活用できるように指導を続行、朗読をきっかけに人間的にも成長を促したい。</p> <p>②企画が完成する頃は広報に間に合わないことが多い。</p> <p>③正規司書の一人が担当してきたが、館には臨時職員でも司書資格を持つ者が4人おりいろんなアイデアを持っている。事務職でも企画畑がおり、最近では臨時職員にも2人1組で企画をサイクルして担当してもらっている。外部からの依頼もあり(現在、商工会議所から起業の関連本の展示依頼あり)、緊急にコーナーを設ける場合もある。</p>
件 名	小松市学校給食調理等業務委託について
所管部課名	学校教育課
内 容	<p>・平成30年度 小松市学校給食調理等業務委託について</p> <p>1委託対象校 安宅小 苗代小 丸内中 安宅中</p> <p>2委託期間 平成30年4月1日～平成33年3月31日</p> <p>3審査結果 (株)グリーンハウス</p> <p>4委託事業者について</p> <p>・選定理由</p> <p>①業務実績 公立小中学校の自校式給食調理業務の実績が豊富</p> <p>②実施体制 市の基準に沿っている。不測の事態への対応も十分。</p> <p>③安全・事故防止体制 HACCP に基づく衛生管理が徹底している。異物混入防止のための教育等、事故防止体制が整っている。食物アレルギー対応についての実績が豊富。</p> <p>④その他 被災地支援の実績がある。</p>
今後の方針	<p>・平成31年度以降についても計画的に学校給食調理等業務委託をすすめていく。小松市として質の高い給食を維持するとともに、安全安心な給食の提供を行っていく。</p>
教育委員等の意見	<p>【蘆邊委員】</p> <p>①これまでの委託業者の評価がよかったのに、違う業者になった理由を明確にし、よりよい給食を子ども達に提供してほしい。</p> <p>【北村委員】</p> <p>②審査結果についてはそれぞれの事業者伝えてあるのか。委託業者が互いに競争をしてよりよい給食を作っていくことが大切である。委託した業者についてもよかった点、課題について指導して欲しい。また、委託業者がかわることで保護者が不安に感じることも考えられるので、保護者の思いも大切にしていってほしい。</p>

件名	教職員の勤務時間について
所管部課名	学校教育課
内容	<p>(別紙資料に基づき説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の勤務時間について <p>1調査の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象職員 校長を含む教員 ・調査内容 時間外勤務時間数 ・集計 年4回 4月～6月・・・3ヵ月ごと <p>2時間外勤務時間の平均と内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 55.9時間 中学校 82.7時間 市立高校 63.4時間 <p>3県立高校との比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立高校が3.5時間多い。勤務の内容はほぼ同じ割合 <p>4加賀市との比較</p> <p>5時間外勤務時間の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校は、教材研究が約45% ・中学校では部活動が35%と多い。また、超過勤務時間が長いほど多くの人が分布 ・市立高校は、部活動が52% ・中学校では過労死ラインを越えている教職員は52%
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・正確性・客観性の高い実態把握を行っていく。 ・校外研修の見直し、外部人材の活用をすすめていく。 ・研修内容を検証し教員の指導力をあげることで、教員の仕事力の向上を図る。
教育委員等の意見	<p>【北村委員】</p> <p>①1年を通して考えていくことが大切。夏休みについて、年間を通した計画のなかで働き方を考えていく。報告書を簡単な形にするなど公務の圧縮を考えていくことが必要。臨時職員等によるサポート体制の充実を考えていくことも重要である。研修のあり方については、教職員の意識改革を図っていくことが大切である。</p> <p>【野田委員】</p> <p>②教職員の勤務条件が悪くなると、質の高い人材が他の職種に流れ、教職員の質の低下につながるのではないか。部活動では外部の人材を有効に使うことを考えてほしい。</p> <p>【石黒教育長】</p>

	分析をできるだけ簡単にして、子どもと接する時間を大切にしていきたい。時間外勤務時間が80時間を越える職員については個別に分析していくことが必要である。その上で、市 P 連の力も借りながら、市でできるサポート体制を考えていきたい。
件 名	新制服について
所管部課名	市立高校
内 容	1. 新制服について ・来年度からの新制服が決定。17日・18日の体験入学でお披露目する。 ・夏のポロシャツについては、現1年生から採用済み。
今後の方針	
教育委員等の意見	【北村委員】 ①制服に生徒の意見も取り入れたのか。
回 答	①制服のデザイン決定には生徒の意見も取り入れている。 特に現状のデザインが気に入っているという声もあり、現在の制服のイメージを踏襲している部分もある。
件 名	体験入学について
所管部課名	市立高校
内 容	・参加予定人数534名。参加者の40%弱が志願者数となっているので、次年度も何とか定員割れしないのでは、と見込んでいる。
今後の方針	
教育委員等の意見	【北村委員】・体験入学の市内中学生の参加数は。 ・県外からも入学者が集まるように、芸術コースのPRを。
回 答	・概ね6割が小松市内、能美市・白山市、加賀市が2割程度。 遠くは津幡からも来る予定。吹奏楽部の人気が高い。 ・吹奏楽が市外の中学校を受け入れて合同練習をするなど、PRになっている。
件 名	平成 29 年度グッドマナーキャンペーンについて
所管部課名	青少年育成課
内 容	石川県主催の「グッドマナーキャンペーン」に賛同し、児童生徒に対し公共マナーの大切さや交通ルールの遵守を呼びかける運動をおこなうもの。今年度は思いやりの視点に立った小松市教育委員会の独自性を情報発信することで、小松の子ども達への訴求効果を高め、活動の充実を図ることを目指している。今年度新しい取組として①各団体等へ、キャンペーンタイトル「ベストハートでつなぐ笑顔のワ」を掲げ周知を行なう。②思いやりチェックカードを市内小中学校に配布・集計。個々が思いやりの振り返りを行ない思いやりの心の育成に繋げていく。③メディアを活用し更にみんなで思いやりの心をつなげていく。9月12日にラジオこまつでPR、テレビこまつで「私のグッドマナー」として生徒会、部活動、ファミリー等に

	出演してもらいグッドマナーの取り組みを紹介し活動の輪を広げていく。
今後の方針	
教育委員等の意見	【北村委員】 ①中学校、高校の生徒会や部活動、小学校の児童会に働きかけ、大人の押し付けではない、同世代から同世代への主体的活動となることが大切。
件名	子育てセンターの指定管理について
所管部課名	青少年育成課
内容	来年度、指定管理の更新を迎える児童クラブが8施設ある。「小松市公の施設にかかる指定管理者の指定手続きに関する条例」により、運営団体が法人については公募により、運営団体が地域にある施設については、選考により選定する。スケジュールについて、総務課よりの連絡で、9月に公募開始、10月に指定管理者選定会。選考についてのスケジュールについては、資料のとおり。
今後の方針	
教育委員等の意見	
件名	寄附受納について
所管部課名	ひととものづくり科学館
内容	小松ライオンズクラブよりタブレット端末3台の寄附をいただいた。プログラミング教育に活用させていただいている。
今後の方針	
教育委員等の意見	
件名	夏の企画等について
所管部課名	ひととものづくり科学館
内容	(1)夏の特別企画「わくわく恐竜ランド」の開催にむけて ①「宮西達也氏講演会を空とこども絵本館と共同で開催。 ②白山恐竜パーク白峰 化石調査員大塚健斗市のワークショップと話 ③小松市立博物館より植物化石他、白山恐竜パーク白峰よりイグアノドン類の歯他、金沢工業大学より恐竜模型ロボットの実演解説や展示協力をいただいている。 (2)入館状況 来館者 50 万人達成。50 万人目来館者は長岡京市からの家族で、体験教室にいい思い出があり、再度体験教室に来館。記念を贈呈し式典を執り行った。
今後の方針	

教育委員等の 意見	【北村委員】他の施設と共同で開催することで、新しい気づきもあるので、今後とも共同開催は積極的にすすめてほしい。
件 名	小松市教育大綱アクションプランの平成 28 年度目標達成値について
回 答	<p>点検・評価に明記されていなかったものについての平成 28 年度の達成値。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(2)②理科教育の推進 理科好きの児童生徒の割合 →達成値 86.8% (基礎学力調査質問紙より) ・(2)④英語教育の充実 英検 3 級以上の実力を持つ生徒(中学 3 年生)の割合 →達成値 41% ・(2)⑧特色ある高等学校づくり 英検「準 2 級」以上の合格割合 →達成値 31% ・(5)①基本的な生活習慣の確立 朝食を毎日食べる児童・生徒の割合 →達成値 小学校96%、中学校95% (基礎学力調査質問紙より) ・(6)③放課後児童クラブの充実 評価Aクラスのクラブ数 →達成値 自己評価実績のAは54.3%
【その他】	
	<p>次回教育委員会会議日程について</p> <p>○臨時会 日時:8月24日(木)午後1時00分 場所:小松市役所 6階 教育長室</p> <p>○定例会 日時:9月5日(木)午後1時00分 場所:小松市役所 6階 教育長室</p>
教育委員からの意見・提言	
北村委員	教育委員会会議には、全員出席していただきたい。やむおえず中座する場合は理由を述べてほしい。
野田委員	教育委員会会議には、全員出席をしていただきたい。教育委員への連絡を徹底してほしい。 子ども達が夏休みを安全に過ごせるように指導をお願いしたい。
蘆邊委員	保護者からいろいろ聞かれることもあるので、教育委員への連絡等はきちんとお願いしたい。
吉原委員	先日の台風5号に関する連絡が学校から保護者にはメールであったようだが、教育委員への連絡がない。災害についても委員への連絡網についての位置づけをはっきりしてほしい。
回 答	教育委員会としては、内容を考えて連絡をしている。100%の連絡はしていないことはご容赦いただきたい。台風に関して、学校から保護者への連絡はあったかも

	<p>しれないが、教育委員会からの支持でなく学校が独自に判断したことだと思っている。台風災害等の連絡は防災センターからの発信によるもの。学校の教職員への避難所開設の指示等については、教育委員会が行っているが、それ以外は教育委員会では行っていない。</p>
--	---